【様式2__B案（社会学）】

学士教育プログラム名称

社会学_学士教育プログラム

学士教育プログラム学習教育目標とURGCC学習教育目標との対応関係表

	URGCC学習教育目標	自律性 自分自身が掲げる目標の達成に向けて、自律的に学習し行動することができる。	社会性 市民として社会の規範やルールを理解し、倫理性を身につけ、多様な人々と協調・協働して行動できる。	地域・国際性 地域の歴史と自然に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に貢献することができる。	コミュニケーション・スキル 言語（日本語と外国語）とシンボルを用いてコミュニケーションを行い、自分の考えや意思を明確に表現することができる。	情報リテラシー 幅広い分野の情報や知識を多様なチャンネルから収集し、適切に理解した上で取捨選択し、活用することができる。	問題解決力 批判的・論理的に思考するとともに、これまでに獲得した知識や経験等を総合して問題を解決することができる。	専門性 専攻する学問分野における思考法、スキル、知識等を体系的に身につけ、活用することができる。
学士教育プログラム学習教育目標	人間の行動、生き方、生活問題の発生過程及びその解決方法などの社会生活の諸側面を理論的・実証的に捉える能力（論理的思考力）		○	○		○		○
		（URGCC学習教育目標と関連があるとして，○印を付けた理由） 人間行動や生活問題の発生過程や解決方法についての理解のために、必要な問題解決力や専門性のベースとして、理論的・実証的に問題をとらえるための視点や洞察力に関わる能力の開発を目指しているため。						
	現実の社会で生じている様々な現象を多種多様な角度から分析し、社会の仕組み・変動を見きわめる能力（分析力）	○	○	○	○	○		○
		（URGCC学習教育目標と関連があるとして，○印を付けた理由） 幅広い分野に関心を持ちながら，実践者・研究者として専門能力の向上に自主的に励み，現実社会における社会性やコミュニケーション能力を発揮して、複眼的な現象理解力・分析力を高めるためのプログラム提供を行っているため。						
	市民社会の発展や生活問題・福祉問題の解決に貢献しうる能力（問題解決力）	○	○		○		○	○
		（URGCC学習教育目標と関連があるとして，○印を付けた理由） 高い専門知識を身に付け，問題解決に向かって自立的・計画的に行動し，生活問題・福祉問題の解決に貢献できる得る能力を身につけること。また、それに伴う問題解決力・情報発信力・提言力等を養うことを目指しているため。						